

## 貸し出し可能な本へ

### Books救命隊

Books救命隊は1日、中央図書館で行われました。

これは岩手の読書週間に合わせて開催したもので、南中学校の図書委員7人が参加。図書館の書庫の見学や職員から指導を受けながら、木工用ボンドとでんぷんのりを混ぜ、水で薄めたものを使用し、一つ一つ丁寧に本の修理をしました。千葉南さん(同中2年)は「本の修理はテープで済ませると思っていた。思っていたより細かい作業だった。中学校の本の修理に役立てたい」と意気込んでいました。

真剣な表情で本を修理する南中学校図書委員の皆さん



踊りやすいテンポで楽しく桑茶音頭を踊った奥野さんたち

## 思わず踊りたくなる

### 奥野ひかるバラエティショー

更木をもっと元気にする奥野ひかるバラエティショーは1月26日、更木地区交流センターで行われました。奥野さんは沿岸被災地の仮設住宅を訪問し、ライブ活動を行っている元気配達人。その活動の中で同地区の住民と知り合い、同ショーが開催されました。また、奥野さんが作詞した更木桑茶音頭が初披露され、同音頭を踊った小田島ナウラさん(更木小5年)と妹のはなさん(同小2年)は「緊張したけど楽しかった」と話していました。

## スキーって楽しい!

### 楽しいスキー教室

北上市スキー協会主催の「楽しいスキー教室」は11日、夏油高原スキー場で行われました。

小学生を中心に37人が参加。4つのクラスに分かれ、同協会のインストラクターからスキーの技術指導を受けました。親子で参加した及川諒くん(黒沢尻北小1年)は「足が痛くなるまで頑張った。面白かったから、またやってみたい」、父の誠さん(町分)は「久しぶりにスキーをやったので面白かった」と笑顔で話していました。

インストラクターから指導を受けて滑る練習をする参加者



大勢の人が「福は内、鬼も内」の掛け声でまかれた豆を拾いました

## 楽しい催したくさん

### ふくまめおにせつぶんえ 福豆鬼節分会

福豆鬼節分会2日、鬼の館で行われました。

節分会では15年ぶりに復活した里小屋下契約会田植え踊りが披露されたほか、22mの恵方巻き作り、餅つき体験などが行われました。また、同館では恒例となっている「福は内、鬼も内」と声掛けをする福豆まきを行い、豆に色紙が付いている福豆を拾った人に賞品を贈呈。中でも一つしかない特福の豆を拾った高橋夢弥くん(6歳)は「特福の豆を拾うことができうれしかった」と喜んでいました。

## 学んだ技術を生かす 「人が集まる黒岩へ」活動報告会

黒工×黒岩プロジェクト「人が集まる黒岩へ」活動報告会は7日、黒岩地区交流センターで行われました。同プロジェクトは、地域課題の発掘から技術を生かした課題解決のプロセスを通して、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりに貢献することを目的に実施。地域の課題に対して黒沢尻工業高校の生徒たちは、授業で学んだ技術を生かし、人が集まるような環境整備を行ったことなど、さまざまな活動報告を各科ごとに行いました。

同地区にある「お滝さん」の看板制作をした機械科。看板は寄贈されました



各試合、雪球を当てられないよう、必死の攻防がありました

## 相手チームめがけて 北上市小学生雪合戦大会

北上市小学生雪合戦大会は2日、北上総合運動公園で行われました。

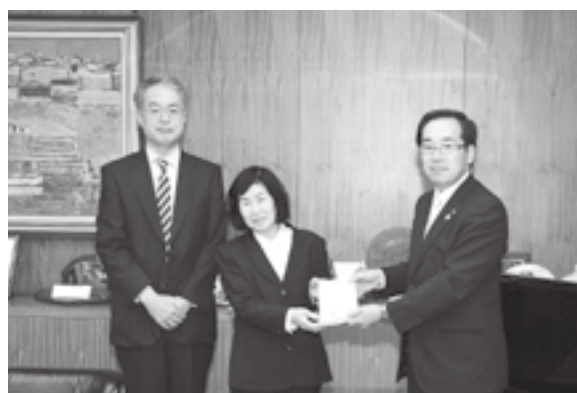
16チームが出場し、予選リーグは4グループに分れ、各グループ上位2チームが決勝トーナメントで対戦。相手チームの選手に雪球が当たると歓声上がるなど、熱戦が繰り広げられました。優勝チーム「ぶっ飛勢」キャプテン中野寛司くん(二子小6年)は「チームが団結して勝ててよかった」と満足げな顔で話していました。

## 雪とふれあい楽しむ ふるさと雪っこまつり

ふるさと雪っこまつりは1月26日、ふるさと体験館「北上」で行われました。

同まつりでは横川目保育園、横川目幼稚園の園児などが出演したステージ発表、スノーフラッグ、花火大会などが行われ、大人から子どもまでさまざまなイベントを楽しんでいました。初めて開催された雪っこ宝さがしに参加した佐藤乃亜さん(和賀西小5年)は「探すのが大変だったけど、宝を見つけることができうれしかった」と話していました。

雪に足を取られながらも参加者はスノーフラッグを楽しんでいました



高橋市長に作品集「きづなうた」を手渡した阿部さん(中央)

## 30数年思いをつづる 作品集「きづなうた」寄贈

北工業団地に立地する株式会社阿部製作所の阿部京子代表取締役会長は平成25年12月13日、作品集「きづなうた」を高橋市長に寄贈しました。

同作品集は、昭和55年から平成25年の間に詠んだ350を超える短歌や俳句などを掲載。また、後半部分には16年度に北上市経済視察団が中国蘇州に新設した同社工場を訪れたこと、市工業振興アドバイザーの関満博氏の取材を受けたときの写真掲載もあり、当市との関わりも深く感じさせる作品集となっています。